

2011 年秋の応用物理学関係連合講演会企画にあたって

応用物理学会講演会企画運営委員長
河田 聡

東日本大震災の影響で本年4月に開催予定の春季講演会がキャンセルされました後、一年ぶりに応用物理学会学術講演会が開催されることになりました。2011年秋第72回応用物理学会学術講演会は、山形大学で開催します。震災で被害を受けられた東北地方の方々にお見舞いを申し上げますと共に、今回は日本中からそして海外から多数の方々から山形にお集まりいただき、最新の研究成果の発表と活発な意見交換を行っていただきたく願っております。震災後の影響が残る中、幸いにも例年の9割を超える多数の講演申し込みをいただきました。18の大分類分科と2つの合同セッションで一般講演3290件、15テーマのシンポジウムなどの招待講演444件の合計3734件の発表が、37口頭講演会場とポスター会場(第1体育館、第2体育館)で行われます。また、120社を超える企業・団体からの展示会出展があり、シンポジウムと展示のコラボレーションも、今回初めて行われる予定です。当局からの節電の要請に応じて今回は多くの口頭講演をポスター講演に変更させていただき、またショートプレゼンテーションの時間も圧縮させていただきます。講演者・参加者の方々には、何とぞよろしくご理解のほどお願い申し上げます。

世界の科学と技術がグローバル化する中、我が国における研究開発および人材育成は、これまで以上により効果的かつスピーディーにその成果を求められています。応用物理学会におきましても伝統を守りつつも、新しい時代のニーズにマッチした講演会企画を進めてまいります。我が国の主要産業を担う先端デバイス、材料およびバイオ分野などの分野の研究者数千人が一堂に集まる重要な場として、応用物理学会学術講演会のさらなる発展と改革を行ってまいりたいと思っております。

以下に今回の講演会企画の主なトピックスを示します。

1) 特別シンポジウム

- ・有機EL研究開発25年：これまでとこれから
- ・100年の歴史に学ぶ超伝導～新たな100年の発展に向けて～

2) チュートリアル(ショートコース)

2011年秋季講演会からチュートリアル(ショートコース)を始めることになりました。内容はいわば大学の講義のスタイルであり、最近のトピックスに繋がる基礎的内容をこれから新たに学ぼうとする学生や企業人を対象として講義を行います。受講料は無料です(ただしコピー代等の実費を頂戴します)。授業形式ですから定員制をとりますので事前予約をお願いしていますが、席があれば当日参加も受け付けます。

3) 応用物理学会スクール

- ・グラフィエンの基礎から応用まで
- ・スピントロニクス、これまでの20年、これからの20年
- ・励起ナノプロセス入門 ―基礎と将来展望―

4) English セッション

- ・8.6プラズマ現象・新応用・融合分野は、英語セッションです。

5) IT化

新しい通信メディアとしてiPhoneやiPadなどによる講演会の全てのプログラムと講演者、さらには展示会の情報をiPhoneとiPadのアプリで提供します。これにより、講演場所や展示ブースへの検索ナビゲーションができます。GoodReaderというアプリを使えば、DVDからiPadにアプスト集を全て移植でき、DVDドライブ付きパソコンを使わずとも、iPadでアプストラクトからの検索とその表示が行えます。

6) 展示会とシンポジウムのコラボレーション

応用物理学会は講演会附設の展示会の改革も進めています。2011年秋季講演会からは、シンポジウムと展示会のコラボレーションを始めます。

- ・特別コラボレーション企画「ラマン分光特別展示」
- ・特別コラボレーション企画「有機EL特別展示」

7) 託児室の設置

期間中、託児室を開設します。参加者にとって有意義で楽しく充実した学術講演会になるよう願っております。

最後になりましたが、講演会場をご提供いただいた山形大学と現地実行委員の先生方に深く感謝いたします。